

欧米を通観しての

日本の都市計画と都市計画史を語る

語り人

デルフト工科大学教授

カローラ・ハイン先生 Carola Hein

Professor and Head, Chair History of Architecture and Urban

Planning at Delft University of Technology.

略歴

ハンブルグ、ブリュッセルで大学卒

1995年ハンブルグ芸術上級学校にて学位取得

1995年から1999年まで東京首都大学と工学院大学で大戦後の日本都市の復興、西欧からの日本都市計画への影響等の研究。

1999年から2014年までプリン・モア大学(2005年から2006までリンカーン土地政策研究所、2007年グッゲンハイムフェローシップ)

2015年から現職

著書として、Jeffrey Diefendorf, and Yorifusa Ishida (eds.)と共編著として *Rebuilding Urban Japan after 1945*. (London: Palgrave Macmillan, 2003) 単著として *The Capital of Europe. Architecture and Urban Planning for the European Union* (Praeger, 2004) 他多数



今回は、語る会と日本都市計画学会との共催で、女性外国人研究者をお招きしての企画です。

ヨーロッパのドイツ、フランスで都市計画の研究を開始され、来日されて当時都立大学の石田頼房先生のもとで日本の都市計画史を研究されました。その後、アメリカにわたってフィラデルフィア近郊のプリン・モア大学(津田塾大学のモデル)で研究教育されたこともあり、現在は「世界的レベルの都市計画史の研究者」としてオランダ・デルフトで活躍中です。IPHIS(国際都市計画史学会)の中心メンバーとして、本年7月にはデルフトでのIPHISの国際学会主催者でした。こういった体験と蓄積された学識から、日本との対比を込めて都市計画の考え方をお示しいただきます。

なお、カローラさんは日本語も堪能ですので通訳なしとします。都市に関する質問は、英語、フランス語、ドイツ語(orオランダ語?)でもOKとします。

日時 2016年10月27日(木) 18:30~20:30
場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ
研修室B(北棟5F)

〒730-0036 広島市中区袋町6-36 ☎082-545-3911

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/shietsu.html>

参加費 1000円
(資料費・会場費として、ただし学生・院生は無料)
定員 50名程度まで

申し込みを条件としませんが、参加される場合、準備の都合上できればメール・FAXで語る会までご連絡ください。
なお、実行委員会についてのお問い合わせは下欄まで

主催 時代を語り建築を語る会実行委員会
共催 (公社)日本都市計画学会中国四国支部
後援 (一社)日本建築学会中国支部
(公社)広島県建築士会

第15回時代を語り建築を語る会実行委員会
(敬称略 50音順 *印は代表)

石丸紀興 北本拓也 小泉直子 佐伯達郎 柴田直美
高東博視 瀧口信二 福馬晶子 藤岡憲三 前岡智之
三宅恭次 宮迫勇次 森保洋之 山下和也 李明

語る会連絡先 広島諸事・地域再生研究所
広島市中区八丁堀1-23 ユニ八丁堀1113
TEL/FAX 082-223-7226 nisimar5@hotmail.com

